

【公報種別】 特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】 第3部門第2区分
【発行日】 令和6年7月3日(2024.7.3)

【公開番号】 特開2024-59632(P2024-59632A)
【公開日】 令和6年5月1日(2024.5.1)
【年通号数】 公開公報(特許)2024-080
【出願番号】 特願2024-12755(P2024-12755)
【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00(2006.01)
A 6 1 P 35/00(2006.01)
A 6 1 P 43/00(2006.01)
A 6 1 K 31/4439(2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00
A 6 1 P 35/00 Z N A
A 6 1 P 43/00 1 1 1
A 6 1 K 31/4439

【手続補正書】
【提出日】 令和6年6月24日(2024.6.24)
【手続補正1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

シールディン欠損に関連するがんの治療における使用のための、Polθ阻害剤を含む医薬組成物であって、該シールディン欠損に関連するがんが、PARP阻害剤に抵抗性のもでもあり、該シールディン欠損が、以下の遺伝子:C20orf196(SHLD1)、FAM35A(SHLD2)、及びCTC-534A2.2(SHLD3)のうちのいずれか1つ以上の欠損、又は該遺伝子によってコードされるタンパク質の欠損である、前記医薬組成物。

【請求項2】

前記がんが、以前はPARP阻害剤に対して感受性があったがん細胞を含む、請求項1記載の使用のための医薬組成物。

【請求項3】

前記がんが、初めは相同組換え修復経路欠損であると確認されたがん細胞を含む、請求項1又は2記載の使用のための医薬組成物。

【請求項4】

前記欠損が、以下の遺伝子:ATM、ATR、BRCA1、BRCA2、BARD1、RAD51C、RAD50、CHEK1、CHEK2、FANCA、FANCB、FANCC、FANCD2、FANCE、FANCF、FANCG、FANCI、FANCL、FANCM、PALB2(FANCN)、FANCP(BTBD12)、ERCC4(FANCO)、PTEN、CDK12、MRE11、NBS1、NBN、CLASPIN、BLM、WRN、SMARCA2、SMARCA4、LIG1、RPA1、RPA2、BRIP1、及びPTENのうちのいずれか1つ以上の欠損、又は該遺伝子によってコードされるタンパク質の欠損から選択される、請求項3記載の使用のための医薬組成物。

【請求項5】

前記がんが、相同組換え修復経路を後に再活性化しているがん細胞を含む、請求項1～4のいずれか1項記載の使用のための医薬組成物。

【請求項 6】

前記がんが、生存に関してマイクロホモロジー媒介末端結合(MMEJ)に依存性となっているがん細胞を含む、請求項1～5のいずれか1項記載の使用のための医薬組成物。

【請求項 7】

Polθ阻害剤を、医薬として許容し得る担体と共に含む、シールディン欠損に関連するがんの治療における使用のための医薬組成物であって、該シールディン欠損に関連するがんが、PARP阻害剤に抵抗性のがんでもあり、該シールディン欠損が、以下の遺伝子:C20orf196(SHLD1)、FAM35A(SHLD2)、及びCTC-534A2.2(SHLD3)のうちのいずれか1つ以上の欠損、又は該遺伝子によってコードされるタンパク質の欠損である、前記医薬組成物。

10

【請求項 8】

前記がんが、以前はPARP阻害剤に対して感受性があったがん細胞を含む、請求項7記載の使用のための医薬組成物。

【請求項 9】

前記がんが、初めは相同組換え修復経路欠損であると確認されたがん細胞を含む、請求項7又は8記載の使用のための医薬組成物。

【請求項 10】

前記欠損が、以下の遺伝子:ATM、ATR、BRCA1、BRCA2、BARD1、RAD51C、RAD50、CHEK1、CHEK2、FANCA、FANCB、FANCC、FANCD2、FANCE、FANCF、FANCG、FANCI、FANCL、FANCM、PALB2(FANCN)、FANCP(BTBD12)、ERCC4(FANQC)、PTEN、CDK12、MRE11、NBS1、NBN、CLASPIN、BLM、WRN、SMARCA2、SMARCA4、LIG1、RPA1、RPA2、BRIP1、及びPTENのうちのいずれか1つ以上の欠損、又は該遺伝子によってコードされるタンパク質の欠損から選択される、請求項9記載の使用のための医薬組成物。

20

【請求項 11】

前記がんが、相同組換え修復経路を後に再活性化しているがん細胞を含む、請求項7～10のいずれか1項記載の使用のための医薬組成物。

【請求項 12】

前記がんが、生存に関してマイクロホモロジー媒介末端結合(MMEJ)に依存性となっているがん細胞を含む、請求項7～11のいずれか1項記載の使用のための医薬組成物。

30

【請求項 13】

1種以上の治療薬剤をさらに含む、請求項7～12のいずれか1項記載の医薬組成物。

【請求項 14】

1種以上の抗癌剤をさらに含む、請求項7～12のいずれか1項記載の医薬組成物。

40

50